切磋琢磨 ～心豊かに躍動する生徒～ ６月

恵那市立恵那東中学校
第３号　R５.5.29

意見をまとめる　～合意形成～

校 長　西尾　英憲

５／24に生徒総会をオンラインで行い、今年度の生徒会スローガンが決定しました。

シン･ヒガシ　～芯･進･新～

全生徒にデジタルアンケートを実施し、全生徒の意見を取り入れたスローガンです。

シンに込められた思いは、主に次の事です。

芯:３本柱(挨拶･掃除･合唱)＋授業の伝統を大切に取り組み、日常の質を高めていく。

進:目標に向かい突き進む。前進する。　　新:全員の意見を取り入れ、挑戦する。

また「プラスの日」を行うことが決まりました。２週間に１回、学級だけでなく、学年や部活動など視野を広げて仲間の良さを書き、学年ホールの掲示の木に貼る取組です。ねらいは、笑顔が増え、生徒同士の関わりが増えることです。学年の木が成長して全校で「プラスの森」ができることを願っています。

さらに「掃除前の移動時間を増やすか、現状のままか」を検討しました。移動時間が短いことで、スピーディーに活動に入れる良さ、反面、時間に間に合わない課題の両面から検討がなされ、討議の結果、現状のままということになりました。

生活の中の課題に気づき、対案を提案して討議し決定していくことが出来ました。生徒会を中心に自治活動が見事にできています。

右の写真は、１年４組の学級活動の様子です。これまで、意見をまとめる時は、多数決で決めることがほとんどでした。今回は、以下のような手順で「合意形成」して決めることに取り組みました。

- □ 一人一人が「学級で笑顔が増えそうなアイデア」を企画書にしてグループに提案する。
- □ 企画書の「やり方」と「理由」を比べ、優先順位を付けたり、似ていることをまとめたりして、グループの案をまとめる。
- □ 各グループ案を学級全体で検討し、行うことを決める。

結果、５日間に「笑顔を増やす」４案が決まり、全員で楽しんで通り組むことが出来ています。こうした学級活動により、「相手の話をよく聞く」「自分の意見を述べる」「共通点や相違点から互いの意見を取り入れる」「自らのかかわり方を決める」といった自己実現、人間関係形成、社会参画の力を高めています。